

# 平成30年度 事業報告書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

学校法人 滋賀学園

# 学校法人滋賀学園 平成30年度 事業報告書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

## 1 法人の概要

### 1 建学の精神

本学園の建学の精神は、国際的視野に立ちながら、将来ますます複雑多様化する未来社会に対応していくことができるように、広く一般教養を高め、各自の個性を尊重し、情緒豊かな人間性を育み、人間愛に満ち、自立心に富んだ、有為の人間を育成するものであり、未来の地域社会を切り拓く創意と意欲を持った人材の育成を目指すものである。

### 2 学校法人の沿革

昭和 8年 1月	創設者森はなが和服裁縫研究所開設(八日市市浜野町)
昭和30年11月	滋賀県八日市市市辺町1932番地に、八日市和洋女子専門学院を開校
昭和42年 4月	校名を八日市女子学園と改め、滋賀県八日市市野々宮町2番30号に校舎を移転
昭和44年10月	準学校法人 八日市女子学園を設立 初代理事長に森はなが就任
昭和46年 2月	文部省指定技能連携校として認可
昭和51年 4月	専修学校として認可、校名を八日市高等女子専門学校(高等課程)及び八日市女子専門学校(専門課程)と改称
昭和58年11月	学校法人 八日市女子学園を設立
昭和59年 4月	滋賀県八日市市建部北町520番地の1に、八日市女子高等学校(全日制 被服科)を開校
昭和62年 3月	文部省指定技能連携校を廃止
昭和62年 4月	八日市高等女子専門学校(高等課程)を廃校
昭和62年 4月	八日市女子高等学校に、全日制課程、教養科を設置
平成元年12月	滋賀文化短期大学 生活文化学科 設置認可
平成 2年 3月	八日市女子専門学校(専門課程)を廃校
平成 2年 4月	八日市女子高等学校に、全日制課程 普通科を設置
平成 2年 4月	滋賀県八日市市布施町29番地に、滋賀文化短期大学 生活文化学科を開学
平成 5年12月	滋賀文化短期大学 人間福祉学科 介護福祉専攻・人間福祉専攻、設置認可
平成 6年 3月	滋賀文化短期大学 人間福祉学科 介護福祉専攻、介護福祉士養成施設として指定(厚生省)
平成 6年 4月	滋賀文化短期大学に、人間福祉学科介護福祉専攻・人間福祉専攻を開設
平成 6年 4月	八日市女子高等学校 教養科を情報教養科に変更
平成 8年 4月	第2代理事長に森美和子が就任
平成 8年 4月	八日市女子高等学校 普通科に福祉コースを開設
平成 8年 4月	滋賀文化短期大学 人間福祉学科 人間福祉専攻 収容定員増
平成 9年 4月	学校法人名称を八日市女子学園から滋賀学園に変更
平成 9年 4月	滋賀文化短期大学 男女共学制移行
平成 9年 4月	滋賀文化短期大学 人間福祉学科 介護福祉専攻 収容定員増
平成 9年12月	滋賀文化短期大学 人間福祉学科 児童福祉専攻 設置認可
平成10年 3月	滋賀文化短期大学 人間福祉学科 児童福祉専攻、保母養成施設と

	して指定(厚生省)
平成10年 4月	滋賀文化短期大学 人間福祉学科 児童福祉専攻を開設
平成11年 4月	八日市女子高等学校を滋賀学園高等学校に改称し、男女共学制移行
平成13年 8月	滋賀学園高等学校 被服科・情報教養科を廃止
平成14年11月	滋賀学園中学校 設置認可
平成15年 4月	滋賀県八日市市建部北町520番地の1に、滋賀学園中学校を開校
平成19年 4月	滋賀文化短期大学 生活文化学科 収容定員減、人間福祉学科 人間福祉専攻 収容定員減、人間福祉学科 児童福祉専攻 収容定員増
平成20年10月	びわこ学院大学教育福祉学部 設置認可
平成21年 4月	滋賀県東近江市布施町29番地に、びわこ学院大学 教育福祉学部を開学
平成21年 4月	滋賀文化短期大学をびわこ学院大学短期大学部に改称し、ライフデザイン学科を設置
平成23年 5月	びわこ学院大学短期大学部 生活文化学科・人間福祉学科を廃止
平成25年 3月	びわこ学院大学附属幼稚園 設置認可
平成25年 3月	びわこ学院大学附属保育園 設置認可
平成25年 3月	びわこ学院大学附属こども園あっぷる 認定こども園として認定
平成25年 4月	滋賀県東近江市布引台一丁目138番1に、びわこ学院大学附属幼稚園を開園
平成25年 4月	滋賀県東近江市布引台一丁目138番1に、びわこ学院大学附属保育園を開園
平成25年 4月	滋賀県東近江市布引台一丁目138番1に、びわこ学院大学附属こども園あっぷるを開園
平成26年 4月	びわこ学院大学教育福祉学部にて、スポーツ教育学科を開設

3 設置する学校・学部・学科・保育所等 (平成30年5月1日現在)

設置する学校等	学 部	学 科	開設年月	摘 要
びわこ学院大学	教育福祉学部	子ども学科	平成21年4月	
		スポーツ教育学科	平成26年4月	
びわこ学院大学 短期大学部		ライフデザイン学科	平成21年4月	
滋賀学園高等学校		普通科	昭和59年4月	
滋賀学園中学校			平成15年4月	
びわこ学院大学 附属こども園 あっぷる			平成25年4月	

## 4 学部・学科等の定員、学生・生徒・園児数の状況

(平成30年5月1日現在)

(単位：人)

学 校 名	学部・学科等	入 学 定員数	収 容 定員数	現員数	摘 要
びわこ学院大学	教育福祉学部 子ども学科	80 3年次編入学定員 10	340	286	
	スポーツ教育学科	40 3年次編入学定員 5	170	130	
	計	120 3年次編入学定員 15	510	416	
びわこ学院大学 短期大学部	ライフデザイン学科	80	160	155	
滋賀学園高等学校	普通科	310 (外部募集240) (内部進学70)	930	617	
滋賀学園中学校		70	210	80	
びわこ学院大学 附属こども園 あっぷる			80	82	

## 5 役員の概要

(平成31年3月31日現在)

定員数 理事6～8名、監事2名

区 分	氏 名	専任 条項	常勤・非 常勤の別
理事長	森 美和子	5 - 2	常 勤
理 事	賀川 昌明	6-1-1	常 勤
理 事	青木 靖夫	6-1-2	常 勤
理 事	森 美和子	6-1-3	常 勤
理 事	森 亘	6-1-3	常 勤
理 事	鈴木 武夫	6-1-3	非 常 勤
理 事	中村 功一	6-1-3	非 常 勤
理 事	沖田 行司	6-1-4	非 常 勤
理 事	竹脇 義成	6-1-4	非 常 勤
監 事	森谷 伊三男	7 - 1	非 常 勤
監 事	山田 善造	7 - 1	非 常 勤

6 評議員の概要（平成31年3月31日現在）

定員数 13～17名

氏名	専任条項
賀川 昌明	24-1-1
青木 靖夫	24-1-2
森 亘	24-1-3
新屋 久幸	24-1-3
森 耀一	24-1-3
森 美幸	24-1-3
山 和美	24-1-4
塚本 美幸	24-1-4
沖田 行司	24-1-5
竹脇 義成	24-1-5
森 美和子	24-1-6
鈴木 武夫	24-1-6
中村 功一	24-1-6
中澤 明	24-1-6
岩本 光恵	24-1-6
清水 忠和	24-1-6
小嶋 太郎	24-1-6

7 教職員の概要

（平成30年5月1日現在）

（単位：人）

区分		法人本部	びわこ学院大学	びわこ学院大学短期大学部	滋賀学園高等学校	滋賀学園中学校	びわこ学院大学附属こども園あつぷる	計
教員	本務	—	27	10	41	12	18	108
	兼務	—	66	25	6	1	0	98
職員	本務	3	11	5	2	0	0	21
	兼務	0	10	6	7	2	0	25

## 2 学園の法人会議及び監査について

### ◇法人の会議等

#### 〈理事会・評議員会〉

年 月	会議区分	議 題 等
平成30年5月26日	評議員会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校法人滋賀学園 平成29年度事業報告に関する件</li> <li>2. 学校法人滋賀学園 平成29年度決算に関する件</li> <li>3. 学校法人滋賀学園 平成29年度監査に関する件</li> <li>4. 学校法人滋賀学園 平成30年度第1次補正予算(案)に関する件</li> <li>5. 学校法人滋賀学園 平成30年度賞与に関する件</li> <li>6. 学校法人滋賀学園 諸規程に関する件</li> <li>7. 学校法人滋賀学園 教職員人事に関する件</li> <li>8. びわこ学院大学・短期大学部、滋賀学園中学・高等学校 コンピュータ入替に関する件</li> <li>9. 滋賀学園中学・高等学校 中長期ビジョン(案)に関する件</li> </ol>
	理事会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校法人滋賀学園 平成29年度事業報告に関する件</li> <li>2. 学校法人滋賀学園 平成29年度決算に関する件</li> <li>3. 学校法人滋賀学園 平成29年度監査に関する件</li> <li>4. 学校法人滋賀学園 平成30年度第1次補正予算(案)に関する件</li> <li>5. 学校法人滋賀学園 平成30年度賞与に関する件</li> <li>6. 学校法人滋賀学園 諸規程に関する件</li> <li>7. 学校法人滋賀学園 教職員人事に関する件</li> <li>8. びわこ学院大学・短期大学部、滋賀学園中学・高等学校 コンピュータ入替に関する件</li> <li>9. 滋賀学園中学・高等学校 中長期ビジョン(案)に関する件</li> </ol>
	評議員会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校法人滋賀学園 平成29年度決算について</li> </ol>
平成30年9月8日	理事会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科 スポーツ教育学科学則(教育課程、免許・資格課程)の一部変更に関する件</li> <li>2. びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科学則(教育課程、免許・資格課程)の一部変更に関する件</li> <li>3. 学校法人滋賀学園 諸規程に関する件</li> <li>4. 学校法人滋賀学園 教職員人事に関する件</li> </ol>
平成30年12月8日	評議員会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校法人滋賀学園 平成30年度長期借入金に関する件</li> <li>2. 学校法人滋賀学園 平成30年度第2次補正予算(案)に関する件</li> <li>3. 学校法人滋賀学園 平成30年度教職員人事に関する件</li> <li>4. 学校法人滋賀学園 平成31年度教職員人事(案)に</li> </ol>

		関する件
	理事会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校法人滋賀学園 平成30年度長期借入金に関する件</li> <li>2. 学校法人滋賀学園 平成30年度第2次補正予算(案)に関する件</li> <li>3. 学校法人滋賀学園 平成30年度教職員人事に関する件</li> <li>4. 学校法人滋賀学園 平成31年度教職員人事(案)に関する件</li> </ol>
平成31年3月23日	評議員会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校法人滋賀学園 平成30年度第3次補正予算(案)に関する件</li> <li>2. 学校法人滋賀学園 平成31年度事業計画(案)に関する件</li> <li>3. 学校法人滋賀学園 平成31年度予算(案)に関する件</li> <li>4. びわこ学院大学短期大学部 介護福祉コースの名称変更に関する件</li> <li>5. びわこ学院大学 2019年度以降の中期目標・計画に関する件</li> <li>6. びわこ学院大学短期大学部 2019年度以降の中期目標・計画に関する件</li> <li>7. 滋賀学園中学校 学則(教育課程)の一部変更に関する件</li> <li>8. 学校法人滋賀学園 諸規程に関する件</li> <li>9. びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部 駐車場他賃借料の値上げに関する件</li> <li>10. 学校法人滋賀学園 平成31年度教職員人事(案)に関する件</li> <li>11. 滋賀学園高等学校 食堂改修に関する件</li> </ol>
	理事会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校法人滋賀学園 平成30年度第3次補正予算(案)に関する件</li> <li>2. 学校法人滋賀学園 平成31年度事業計画(案)に関する件</li> <li>3. 学校法人滋賀学園 平成31年度予算(案)に関する件</li> <li>4. びわこ学院大学短期大学部 介護福祉コースの名称変更に関する件</li> <li>5. びわこ学院大学 2019年度以降の中期目標・計画に関する件</li> <li>6. びわこ学院大学短期大学部 2019年度以降の中期目標・計画に関する件</li> <li>7. 滋賀学園中学校 学則(教育課程)の一部変更に関する件</li> <li>8. 学校法人滋賀学園 諸規程に関する件</li> <li>9. びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部 駐車場他賃借料の値上げに関する件</li> <li>10. 学校法人滋賀学園 平成31年度教職員人事(案)</li> </ol>

		に関する件 11. 滋賀学園高等学校 食堂改修に関する件
--	--	---------------------------------

◇法人の監査等

年 月	内 容
平成30年 4月	期首監査(公認会計士)
平成30年 5月	平成29年度決算監査(公認会計士)
平成30年 5月	学園監事による公認会計士からの監査状況報告聴取
平成30年 5月	学園監事による平成29年度監査
平成30年 9月	滋賀県総務部私学・大学振興課による現地調査
	中間監査(公認会計士)
平成30年 12月	滋賀県健康医療福祉部健康福祉政策課による指導監査
平成31年 1月	期中監査(公認会計士)
平成31年 3月	期中監査(公認会計士)



### 3 事業の概要

#### I 主な事業の目的・計画およびその進捗状況

<びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部>

#### 目的

1. 学生定員の充足
2. 学生指導の充実
3. 教員就職率・就職率の向上
4. 外部資金獲得

#### 達成状況

##### 1. 学生定員の充足

○学生定員充足状況 (H31. 3. 28 現在)

教育福祉学部

子ども学科	定員	80名	入学者	78名	充足率	97.5%
スポーツ教育学科	定員	40名	入学者	45名	充足率	112.5%
合計	定員	120名	入学者	123名	充足率	102.5%

短期大学部

ライフデザイン学科	定員	80名	入学者	70名	充足率	87.5%
-----------	----	-----	-----	-----	-----	-------

##### 2. 学生指導の充実

○学生指導体制の見直し

進路・就職支援課職員と教員との連携 → 「びわ学キャリア塾」構想策定

○SA制度の実施 (四大生対象 13件 20名 採用)

○資格取得奨励金・公務員試験合格奨励金制度の学部生への適用

○学長裁量経費による学生表彰 (学長賞 2名、学長奨励賞 4名)

##### 3. 教員就職率・就職率の向上

○就職状況 (H31. 4. 1 現在)

教育福祉学部 子ども学科

卒業生 68名 就職希望者 61名 就職決定者 61名 就職決定率 100.0%

小学校 (公立) 13名 養護教諭 4名 幼保 (公立) 1名 幼保 (私立) 12名

教育福祉学部 スポーツ教育学科

卒業生 21名 就職希望者 18名 就職決定者 18名 就職決定率 100.0%

中学校保体 (公立) 1名 特別支援学校 (公立) 2名

短期大学部 ライフデザイン学科

卒業生 61名 就職希望者 56名 就職決定者 55名 就職決定率 98.2%

幼保 (公立) 1名 幼保 (私立) 12名

##### 4. 外部資金獲得

○大学COCプラス事業→採択・継続

(滋賀県立大学が基幹校となり、本学を含む5大学が参加)

- 科研費 新規申請件数 12 件 (2 件採択)
- 環びわこ大学・地域コンソーシアム「地域課題解決支援事業」  
平成 30 年度新規 2 件 (計 200,000 円)
- 東近江市 近江鉄道活性化調査検討委託業務  
平成 30 年度新規 1 件 (300,000 円)
- 公益財団法人前川財団 2018 年度助成事業「家庭教育研究及び実践助成」  
研究課題：絵本を素材にした「語りの力」の研究 (600,000 円)
- 滋賀県 滋賀県内大学 SDG s 普及促進等支援補助金 (200,000 円)

#### 5. その他、大学改革に向けての取り組み

- 平成 30 年度までの中期目標・計画総括および平成 31 年度以降の中期目標・計画策定
- ライフデザイン学科介護福祉コースの名称変更検討
- 地域の課題解決に向けて、大学によるアイデアコンテストへの参加  
滋賀中央信用金庫理事長賞 (びわ学 MARU ゼミ 1 班：びわこ学院大学短期大学部)  
滋賀商工会議所会頭賞 (BGU 若鮎：びわこ学院大学)
- 各種会議情報の共有化 (学内 LAN による会議情報閲覧)
- 教育実習連絡協議会の開催 (H30. 10. 24)
- I R 情報整備 (各部署における情報整理・学内 LAN での共有)

### 年間行事報告

- (1) 入学式 4/2(月)
- (2) 卒業証書学位記授与式 3/15(金)
- (3) 教員免許状更新講習 必修2科目・選択必修4科目・選択20科目  
11日 受講者延べ2,309名
- (4) 免許法認定講習 5講座 10日 受講者延べ 396名
- (5) 幼稚園教諭免許状取得特例講習 2講座 8日 受講者延べ 191名
- (6) 保育士資格取得特例講習 2講座 8日 受講者延べ 49名
- (7) 公開講座 3講座 1日 受講者延べ 27名
- (8) 実習連絡協議会 10/24(水) 滋賀県教育委員会、東近江市教育委員会他7名、  
本学教職員11名

#### (9) 教職支援事業

##### I 教職支援講座

- ・採用試験実施要項説明会  
滋賀県教育委員会教職員課人事担当者を招き説明会を開催。教員を目指す学生の心構えや採用試験に向けた受験準備、採用試験要項等について説明。  
参加学生 (大学 4 年生) 22 名
- ・滋賀の教師塾 (10 月～6 月 全 12 回実施)  
県教育委員会事務局教職員課主催。参加学生 10 名
- ・教職説明会  
滋賀県教育委員会教職員課人事担当者を招き説明会を開催。教員を目指す学生の心構えや採用試験に向けた受験準備等について説明。  
参加学生 6 7 名 (大学 1 年生 22 名 2 年生 25 名 3 年生 20 名)

## II 採用対策講座

- ・基礎学力養成講座

短大・大学の1年生を対象に、東京アカデミーと共催して国語、数学の基礎講座を開講。4月から7月にかけて10コマ実施。参加学生（短大23名・大学57名 計80名）

- ・基礎学力養成演習（学内）

短大・大学の1年生を対象に、基礎学力の補充・養成を目指して学内の講座を開講。4月から12月にかけて15コマ実施。参加学生（大学20名）

- ・試験対策スタンダード講座

短大・大学の1年生を対象に、東京アカデミーの採用試験対策講座を開催。9月から1月にかけて10コマ実施。参加学生（短大23名・大学57名）

- ・試験対策アドバンス講座

短大・大学の2年生を対象に、東京アカデミーの一般知能（数的・判断・空間・資料）、一般知識（政治・経済）の試験対策講座を開催。5月から7月にかけて10コマ実施。参加学生100名

- ・採用対策スタンダード講座

大学2年生を対象に、東京アカデミーの一般教養の講座を開催。11月から1月6コマ実施。参加学生76名

- ・教員採用対策アドバンス講座

大学3年生の教員志望者を対象に、東京アカデミーの一般教養・教職教養科目の講座を4月から1月20コマ実施。参加学生24名

- ・幼保採用アドバンス講座（学内）

大学3年生の幼保希望者を対象に、4月から12月にかけて幼保採用試験に向けて、1次試験に課される面接討論や論作文など試験対策を中心に、学内の対策講座を7コマ実施。参加学生12名

- ・教員採用対策直前演習（学内）

大学3年生の教員志望者を対象に、2月から3月に教員採用試験に向けて、1次試験に課される集団討論や論作文などの試験対策を中心に学内の対策講座を8コマ実施。参加学生20名

- ・幼保採用対策直前講座（学内）

大学4年生の幼保希望者を対象に、4月から7月にかけて幼保採用試験に向けて、1次試験に課される面接討論や論作文など試験対策を中心に学内の対策講座を12コマ実施。参加学生14名

- ・教員採用対策直前講座（学内）

教員志望者を対象に、4月から7月にかけて教員採用試験の1次試験にむけて、集団討論や小論文などの試験対策を中心に学内の直前対策講座を14コマ実施。参加学生21名また、1次合格者に対して、2次試験対策を8コマ実施した。

- ・全国教員採用模擬試験（東京アカデミー主催）

教員志望者の3年生を対象に、1月から計4回実施。参加学生のべ73名

- ・全国公務員模試、保育士模試（東京アカデミー主催）

3.4年生を対象に、1月から5月にかけて東京アカデミー主催の模擬試験を実施。参加学生（公務員20名・保育士20名）

## III 教員等指導力養成

- ・教育ボランティア参加者

保・幼・小学校、夏休み学習会、サマーフェスティバル等。参加学生37名

・教育ボランティア省察会

ボランティアに参加した学生3名の体験談をもとに、4年生で教員採用試験に合格した学生2名を交えてグループ懇談会を実施。参加学生20名

(10)就職対策事業

- |   |      |     |
|---|------|-----|
| ・ハローワーク・ジョブサポーター就職相談：16回                  | 参加学生 | 22名 |
| ・県内合同企業説明会：10会場                           | 参加学生 | 18名 |
| ・福祉の職場総合フェア：3会場                           | 参加学生 | 15名 |
| ・介護・福祉説明会：2回(学内)                          | 参加学生 | 50名 |
| ・学内模擬面接会：2回実施                             | 参加学生 | 38名 |
| ・就職対策講座(学内)                               |      |     |
| 短大2年：9回実施(公務員対策)                          | 参加学生 | 4名  |
| 大学4年：10回実施                                | 参加学生 | 4名  |
| ・就職ガイダンス：2回実施                             |      |     |
| ・進路ガイダンス：8回実施                             |      |     |
| ・東近江消防説明会：2回実施                            | 参加学生 | 42名 |
| ・自衛官説明会：1回実施                              | 参加学生 | 1名  |
| ・インターンシップ実習：短大1年12名、<br>四大2年2名 3年32名 4年2名 |      |     |

※主な受入先：

東近江市教育研究所、東近江市河辺の森、滋賀県平和祈念館、大津市公園緑地協会、日本観光開発、日本ポリスター、びわ湖花街道、ホンダカーズ土山、野洲メディカルイメージングテクノロジー、エフアイ、岡本エンジニアリング、宮川バネ、滋賀中央信用金庫、滋賀県障害児協会湖北タウン、東洋、鈴木牧場 等

- ・就職ガイドブックの配布：大学3年、短大1年およびその保護者
- ・個人面談、履歴書添削、模擬面接(随時)
- ・求人依頼冊子発送：2,300事業所(一般企業、福祉施設等)
- ・びわ学CNS求人情報配信
- ・企業アンケート：平成28、29年度卒業生の就職先(226カ所)に対して郵送、卒業生の就職先での評価と採用にあたって重視する点を調査
- ・保護者対象「学修指導および進路・就職支援に関する説明会」11月3日(土)

就職率 教員・福祉系就職率

就職状況

教育福祉学部

卒業生84名 就職希望者82名 就職決定者82名

就職決定率 100.0%

教育 20名(24.4%) 保育・福祉 33名(40.2%)

\*教員採用試験合格状況

小学校教員10名 中学校教員1名 特別支援学校1名

養護教員3名 公立幼稚園・保育園10名

短期大学部

卒業生61名 就職希望者57名 就職決定者56名

就職決定率 98.2%

(11)高大連携

- ・滋賀学園高校・びわこ学院大学情報交換会 7/3(火)
- ・滋賀学園高校 特別推薦入試説明会およびキャリアサポート部との情報交換会  
9/12(水)
- ・滋賀県立能登川高等学校2年生 高大連携事業 8/7(火)・8/27(月)他 受講者13名

- ・滋賀県立水口高等学校 2年生 上級学校修学体験事業 1/21(月)・1/22(火)受講者 17名
- ・滋賀県立愛知高等学校 キャンパス見学会実施 4/27(金)、12/10(月) 受講者 36名
- ・滋賀県立河瀬高等学校 防災マップづくり 3/27(水) 受講者 40名
- ・滋賀県立高校生徒対象大学連続講座 教育・幼保・福祉 3講座開講 受講者 7名  
スポーツ講座 受講者なし(閉講)
- ・平成30年度プレカレッジ(出前授業)
  - 中学校 7校(滋賀学園、朝桜、玉園、彦根西、守山北、県立豊話、八幡)  
受講者 1,390名
  - 高等学校 7校(滋賀学園、甲西、水口、彦根東、日野、甲南、石部)  
受講者 1,454名
- ・県内大学・高校懇談会 8/20(月) 本学から教員1名、職員3名が出席
- (12)交通・生活安全研修 4/5(木)
- (13)大学祭 11/2(金)～11/3(土)
- (14)ハラスメント研修会 11/28(水)
  - 「学園におけるハラスメントの現状と防止について」
  - 講師 弁護士 寺内 則雄氏
- (15)FD・SD活動
  - SD研修会2/19(火)「ビジネスマナーと職場コミュニケーション」  
講師 (株)ウィズネス 本田 妃世氏
  - FD研修会8/29(水)「着任1年目の教員から見る、本学学生の実態と課題についてⅠ」  
講師 本学FD委員
  - FD研修会12/26(水)「次年度シラバス作成のためのFD研修」  
講師 教務課長 岡崎 孝文氏
  - FD活動2/13(水)「授業改善をテーマにした学生からの意見聴取」  
参加者 本学FD委員、学生10名
  - FD研修会2/27(水)「着任1年目の教員から見る、本学学生の実態と課題についてⅡ」  
講師 本学FD委員
- (16)入試説明会 2回 6/12(火) 草津・6/14(木) 彦根
- (17)オープンキャンパス (10回) 第8回は入試相談会
 

第1回	3/24 (祝月)	第2回	6/23 (土)	第3回	7/14 (土)
第4回	7/22 (日)	第5回	8/4 (土)	第6回	8/19 (日)
第7回	10/20 (土)	第8回	11/3 (祝金)	第9回	11/17 (土)
第10回	12/15 (土)	延参加者数956名			
- (18)ライフデザイン学科入試
 

A0入試(A日程)	8/17(金)
A0入試(B日程)	9/15(土)
指定校制推薦入試	10/13(土)
公募制推薦入試(前期)	11/10(土)・11/11(日)
公募制推薦入試(後期)	12/8(土)
自己推薦入試	12/8(土)
一般入試(前期)	2/3(土)・2/4(日)
一般入試(後期)	3/8(金)
社会人入試	11/11(日)・12/8(土)・2/3(日)・3/8(金)
センター試験利用入試	A日程 1/7(月)～1/25(金)
	B日程 2/8(金)～2/22(金)
	C日程 2/26(火)～3/8(金)
外国人留学生入試(国内Ⅰ期)	11/11(日)
外国人留学生入試(国内Ⅱ期)	2/3(日)

(19) 教育福祉学部子ども学科入試

A0 入試(1次)	9/15(土)
A0 入試(2次)	9/16(日)
指定校制推薦入試	10/13(土)
公募制推薦入試(前期)	11/10(土)・11/11(日)
公募制推薦入試(後期)	12/8(土)
自己推薦入試	12/8(土)
一般入試(前期)	2/3(土)・2/4(日)
一般入試(後期)	3/8(金)
社会人入試	11/11(日)・12/8(土)・2/3(日)・3/8(金)
センター試験利用入試	A 日程 1/7(月)～ 1/25(金) B 日程 2/8(金)～ 2/22(金) C 日程 2/26(火)～ 3/8(金)
編入学試験(指定校)	9/15(土)
編入学試験(一般前期)	11/11(日)
編入学試験(一般後期)	2/3(日)
外国人留学生入試(国内Ⅰ期)	11/11(日)
外国人留学生入試(国内Ⅱ期)	2/3(日)

(20) 教育福祉学部スポーツ教育学科入試

A0 入試(A日程)	8/17(金)
A0 入試(B日程)	9/15(土)
スポーツ推薦入試Ⅰ期	9/15(土)
指定校制推薦入試	10/13(土)
公募制推薦入試(前期)	11/10(土)・11/11(日)
公募制推薦入試(後期)	12/8(土)
自己推薦入試	12/8(土)
一般入試(前期)	2/3(土)・2/4(日)
一般入試(後期)	3/8(金)
社会人入試	11/11(日)・12/8(土)・2/3(日)・3/8(金)
センター試験利用入試	A 日程 1/7(月)～ 1/25(金) B 日程 2/8(金)～ 2/22(金) C 日程 2/26(火)～ 3/8(金)
編入学試験(指定校)	9/15(土)
編入学試験(一般前期)	11/11(日)
編入学試験(一般後期)	2/3(日)
外国人留学生入試(国内Ⅰ期)	11/11(日)
外国人留学生入試(国内Ⅱ期)	2/3(日)

施設・設備の充実

- (1) 正門 門柱銘板設置
- (2) 全館トイレ ウォッシュレット取替工事
- (3) 本館1F職員女子トイレ・多目的トイレ改修工事
- (4) ピエタス館1F子ども教育実習室 エアコン更新工事
- (5) 本館1F理科室 エアコン更新工事
- (6) 本館1F会議室東 エアコン更新工事
- (7) 本館1F食堂厨房・休憩室 エアコン新設工事

- (8) 本館1F会議室東 エアコン更新工事
- (9) 本館1F消防設備（非常放送設備）改修工事
- (10) 本館1F非常勤講師室 天井防水改修工事
- (11) 本館1F会議室 照明器具(LED化)更新工事
- (12) 本館1F玄関ホール・体育館玄関 照明器具(LED化)更新工事
- (13) 本館3F第1・第3コンピュータ室 パソコン入替
- (14) 職員用 パソコン入替
- (15) スクールバス トヨタコースター購入

## 〈滋賀学園高等学校〉

### 1 教育活動

#### ① 重点目標と具体的実践

##### (1) 確かな学力・発展的な学力を伸ばす教育の実践

5つの力(知る力、読み取る力・聞き取る力、考える力、書く力、伝える力)を伸ばし確かで発展的な学力の育成を図る。教職員集団として組織的に授業研究に取り組み、教科指導力の向上に努める。

\*習熟度別授業(Ⅱ類、Ⅰ類生徒を対象に数学、英語で実施)

\*校内塾の実施(放課後に希望者を対象に国語、数学、英語の補習を実施)

\*語彙・読解力検定の全員受験、英語検定・漢字検定・数学検定の積極的な受検

##### (2) 生徒一人ひとりの自己実現(進路実現)に向けた教育の充実

自己実現に向け自主的かつ粘り強く学習に取り組む生徒を育てる。授業時間数の確保、習熟度別授業、個別指導や校内塾、キャリアサポート(面談、進路講演会、模試分析、進路情報の提供等)の充実を図る。Ⅱ類ではセンター試験の受験者数を増やし、国公立大学や難関私立大学へのチャレンジを推奨する。

\*学校教育 ICT 活用支援ソフト「Classi(クラッシー)」の高校1年生への導入と活用

\*総合探究での課題発見・問題解決を図る協同学習の実施

\*高大連携の実施(びわこ学院大、同志社大、滋賀県立大)

\*外部模試の全員受験(Benesse 模試)

\*オープンキャンパスへの積極的参加

##### (3) 海外留学の推進と実践的英語力の育成

国際化に対応した実践的英語力の育成に取り組み、英語のコミュニケーション能力の向上を図る。ニュージーランド姉妹校との連携をさらに強め、長期留学(1年)やターム留学(3ヶ月)への積極的参加を勧める。英語検定受検に向けた取組をさらに推進する

\*ニュージーランドへの海外留学とターム留学(3ヶ月)

(1年留学8名、ターム留学2名)

\*A L Tの積極的な活用(英検対策、スピーチコンテスト指導、留学の事前事後指導)

\*県スピーチコンテスト(ミシガンカップ)への参加 平成30年度優勝

##### (4) ICT 活用と21世紀型人材(ジェネリックスキル)の育成

タブレットPCや電子黒板等のICT機器を授業で有効に活用し、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業に取り組む。生徒が主体的・協働的に学ぶ態度を育て、コミュニケーション能力や問題解決能力や情報活用力、創造性などを伸ばし、社会の変化に柔軟に対応できるジェネリックスキル(汎用的能力)を身に付けた人材を育成する。

\*タブレットPCをiPadに変更(中1、高1全員)

\*電子黒板やプロジェクタを活用した授業の推進

\*生徒の意見を集約し、共有するソフト(ロイロノート)を利用した授業の実施



(5) 健全な心身と強い精神力、豊かな情操を育む

健全な心身と強い精神力、豊かな情操を育むために学校行事やホームルーム活動、部活動のさらなる充実を図る。全ての教育活動を通して正しい行動、責任ある行動をとれる自立した大人への成長を促す。

\*1年生宿泊オリエンテーションの実施

\*遅刻防止、服装・頭髪指導の徹底

\*校外学習での演劇鑑賞(劇団四季)

(6) 信頼される学校づくりの推進

授業改善と生徒一人ひとりの特性を見取る力の向上をめざし、教育相談・生徒指導の充実を図る。規範意識の醸成と人権意識の高揚に努め、生徒一人ひとりが大切にされ、いじめのない安心して通える学校づくりを進める。

\*支援教育推進委員会を年間6回実施

\*特別支援や配慮の必要な生徒の指導方針の決定と共有

\*カウンセリングを週1回実施(生徒・保護者・教員が対象)

(7) 「挨拶・思いやり・感謝」の実践

「挨拶・思いやり・感謝」の3つの実践を教育活動の基本に据え、連帯感と活気にあふれた学校づくりを進める。地元から応援してもらえる学校を目指し、地域貢献に積極的に取り組む。

\*朝の挨拶運動(生徒会中心)

\*警察と連携した交通安全の啓発活動を実施

\*地域の情報誌「そこら」への高校生ライターとしての参加

(8) 部活動の上位入賞を目指す取組みを強化

施設の充実と指導力の向上に努め、生徒の部活動への意欲喚起と競技力の向上を図り、大会での上位入賞、全国大会への出場をめざす。

\*全国大会出場

ライフル射撃部(全日本ジュニア)

陸上競技部(インターハイ、全国高校駅伝、国民体育大会)

卓球部(インターハイ、全国選抜、国民体育大会)

空手道部(インターハイ)

(9) 学校のブランド力を高め、募集定員を確保する広報

今後の生徒数の動向や、求められる資質・能力などを分析・検討する中で、学校の魅力を再構築し、学校の特色や実績について発信し、地域や保護者の理解を深める。

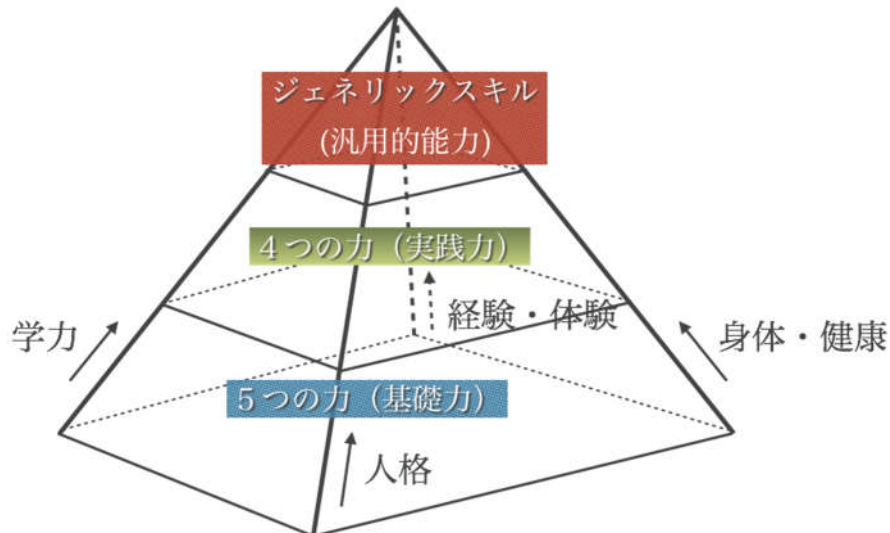
\*ホームページで学習や行事など、学校生活における生徒の活動する姿を発信

\*学校行事や地域行事で活躍する生徒のようすを各メディア(新聞社・TV局)に提供

\*オープンスクールや学校説明会の充実、学校案内等の刷新

\*今後の中学生の動向を見据えた中長期戦略の構築

(参考) 本校が取組む 21 世紀型人材育成と「学びのピラミッド」



### 5つの力(基礎力)

- ① 知識力(知る力)
- ② 読解力(読み取る力、聞き取る力)
- ③ 思考力(考える力)
- ④ 記述力(書く力)
- ⑤ 発表力(伝える力)

### 4つの力(実践力)

- ① コミュニケーション力
- ② 問題解決力(課題発見力)
- ③ 情報活用力
- ④ 創造力(想像力)

### 21 世紀型人材とジェネリックスキル(汎用的能力)

社会の変化に柔軟に対応しながら、他者と協力・協調し、よりよい社会の実現のために努力できる人。ジェネリック・スキル(汎用的能力)を身につけた人。ジェネリックスキル(汎用的能力)とは社会で生きていくために必要な知識活用能力のこと。



## ② 年間行事報告

(1) 新入生宿泊研修	4/12・13	於:アクティブラザ`琵琶(高島市)
(2) 高大連携(同志社大学)	4/25	出張講義①(Ⅱ類1・2年生) 於:本校
	5/23	〃 ②
	8/5	オープンキャンパス 於:同志社大学
	9/19	出張講義③(Ⅱ類1・2年生) 於:本校
	11/7	〃 ④
(3) オープンキャンパス参加	2/12	〃 ⑤
	7/下旬～	
(4) 模擬試験等	4/17	スタディポート(全学年全員)
	4月～2月	校外模試
		(3年生進学希望者) 年18回
		(1・2年生全員) 11/31
		(1・2年生進学希望者) 年6回
(5) 進路ガイダンス		(2年生進学希望者) 年3回
	1/19・20	大学入試センター試験
	4/14	(3年生) 於:第一体育館
	11/28	(2年生) 於:第一体育館
	2/20	1年生分野別進路説明会
	4/14	保護者会(3年生)
	7/19・20,	保護者会(1・2・3年生)
	12/20・21	
	9/3	センター試験出願説明会
	9/12	びわこ学院大学出願説明会
(6) 学校評価	10月末	自己評価(中間評価)
	3学期末	学校評価学校関係者評価
	3月末	自己評価(総合評価)
(7) 体育祭(中高合同)	6/18	於:本校
(8) 文化祭(中高合同)	9/6・7	於:本校
(9) 修学旅行(2年生)	2/14～21	行先:小笠原諸島・オーストラリア
(10) 海外留学(3ヶ月)	1月中旬～	行先:ニュージーランド
	4月上旬	
海外留学(1年)	1月下旬～	(高校生、中高一貫生徒)
	翌年12月上旬	
(11) 英語スピーチコンテスト	11月	ミシガ`ンカップ 於:彦根市
	12月	近畿高校英語スピーチコンテスト
	2月	全国高校英語スピーチコンテスト
(12) 各種検定	6/2, 10/6, 1/26	英語検定
	6月, 11月, 2月	漢字検定
	6/23	数学検定
	7/13	GTEC(3年生)
	12/17	GTEC(1・2年生)
		於:第一体育館
(13) 全校SNS指導	5/1	
(14) 性教育講習	7/18	(1年生)
(15) 交通安全・挨拶指導	4/17	(1年生)
	10/24	(3年生)

(16) 人権講習会	7月, 9月, 12月, 3月	於: 第一体育館・各 HR 教室
(17) オープンスクール(学校見学会)	7月～12月	計6回(中学校生徒・保護者対象) 於: 本校
(18) 入試説明会	7/30 9/12	(中学校教員対象) 於: 本校 (塾対象) 於: 本校
(19) 私学合同説明会	8月(彦根) 9月(草津)	
(20) 入学試験	2/4・5	於: 本校

## 2 施設・設備の充実

- (1) 運動部室更新工事
- (2) 第2グラウンド防球ネット増設工事
- (3) コンピュータ実習室PC更改
- (4) 教職員用PC更改
- (5) 吹奏楽器購入
- (6) 中型スクールバス車両購入

## 〈滋賀学園中学校〉

### 1. 教育活動

#### ①重点目標と具体的実践

##### (1) 確かな学力・発展的な学力を伸ばす教育の充実

5つの力(知る力、読み取る力・聞き取る力、考える力、書く力、伝える力)を伸ばし、確かで発展的な学力の育成を図る。教職員集団として組織的に教科指導力の向上に取り組む。

\*習熟度別教育(国語、数学、英語)、全教科でのアクティブラーニング導入

\*毎朝10分間の朝読書、火・金曜放課後自習時間の活用 英語・数学・漢字検定取組

##### (2) 子どもたち一人ひとりの自己実現(進路実現)に向けた教育の充実

自己実現(進路実現)に向け自主的かつ粘り強く学習に取り組む生徒を育てる。能動的な学習形態を取り入れた授業改善や、個別指導、総合的な学習と関連して、キャリア教育の充実をはかる。

\*総合探究 Jr. での課題発見・問題解決を図る協同学習、プレゼンテーション能力を伸長し、企業8社(Panasonic、ダイワハウス、富士通、他)と共に企画事業を取り入れたキャリア教育

\*中高一貫校を主軸においた進路指導

\*学力伸長をはかる外部模試の見直し(大阪進研から中高6年間のデータ収集を図るベネッセ社の模試に移行検討)

##### (3) 海外研修や海外留学のさらなる充実

海外研修や海外留学を通じて、国際化に対応した実践的英語力の育成に取り組み、英語のコミュニケーション能力の向上を図る。

\*ニュージーランド海外研修の期間と研修先の見直し

(ネルソン8週間→タウランガ6週間 うち、ホームステイ期間を2週間短縮)

\*海外留学(約1年間:中3~高1)

\*ALTの積極的な活用(英検対策・スピーチコンテスト指導・小学校教員対象学習会)

##### (4) 主体的・能動的な態度の育成

タブレットPCや電子黒板等のICT機器を授業で積極的に活用する。

アクティブラーニングを取り入れた授業により、生徒に主体的・協同的に学ぶ態度を育て、問題解決能力やコミュニケーション能力、創造性の育成を図る。

\*タブレットPCを用いたプレゼンテーション学習(総合探究 Jr.)

\*体育の器械運動の動きを動画でチェックして確認し合い、教え合う協同学習

\*電子黒板で補足資料や生徒の意見を反映させながら進める授業の視覚化

\*生徒の意見を集約し、共有するソフト(ロイロノート)を利用した授業の焦点化

\*自学自習を促す家庭学習との連携(スタディサプリの利用頻度を上げる課題設定)

##### (5) 健全な心身と強い精神力、豊かな情操を育む

学校行事やホームルーム活動、課外活動の更なる充実を図る。人間教育の基軸づくりとして、体験活動と教科学習活動との関連性を高めるESDカレンダーのカリキュラム作成を通して、横断的な教科を越えた取り組みから人間力の育成を図る。

\*各体験学習の目的・目標と活動内容の見直し

\*次年度の研究授業テーマを「生徒の見とり」とした道徳教科の全体計画づくり

##### (6) 信頼される学校づくりの推進

授業改善と生徒一人ひとりの特性を見取る力の向上をめざし、教育相談・生徒指導の研修を組み入れた校内委員会で、事例研究や諸機関との連携を密にし、生徒一人ひとりが大切にされる授業環境、生活環境を整える。保護者会との連携を深める活動の取り組みを、授業改善や生徒指導に反映し、相互理解を進める。

\*年5回の校内委員会で校内研修の実施 研究授業と教科指導における共通評価(授業規律・生徒指導・配慮を要する生徒への工夫)の作成と検討

\*県教育委員会主催の研修会や他の研修へ教員の派遣と校内委員会での共有

(7)「挨拶・思いやり・感謝」の実践

「挨拶・思いやり・感謝」の3つの実践を教育活動の基本に据え、連帯感と活気にあふれた学校づくりを進める。

\*朝の挨拶運動(生徒会中心)

(8)学校のブランド力を高め、募集定員を確保する広報

魅力を再構築し、学校の特色や実績について地域や保護者の理解を深める。

\*ホームページで学習や行事など、学校生活における生徒の活動する姿を発信

\*学校行事や地域行事で活躍する生徒のようすを各メディア(新聞社・TV局)に提供

\*オープンスクールや学校説明会の充実、学校案内等の刷新

(9)地域貢献

小学校英語科導入に向けて生きた英語を使う実践機会を、地元小学校教員対象に English Camp と称し、本校 ALT 教員と教室(指導者と場所)を提供する。

\*東近江市内小学校教員を対象とした外国語活動実践交流会の実施

年10回(6~3月の月毎)の開催 各小学校から毎回2~5名が参加  
報告書及び実践資料集を作成中 各小学校へ7月配布予定

\*小学校児童4年生から6年生を対象にロボットプログラミング教室(シガロボ)

を開催。東近江市内小学校22校に対象児童数4000部の案内を配布

3月30(土)・31(日)の2日間で全5回(各回15名、全75名)実施

申込み87名から抽選

② 年間行事報告

	全 校	1 年	2 年	3 年	入試関係
4 月	入学式・始業式 健康診断・スポーツテスト 新入生歓迎会 防災訓練 保護者会	宿泊研修 於)荒神山自然の家 新入生テスト	課題テスト NZ海外研修説明会 校外学習(イングリッシュキャンプ)	課題テスト 全国学力学習状況検査	小学校訪問 塾訪問
5 月	世界一大きな授業 携帯スマホ指導 性教育講演 校医検診 中体連春季総体 中間考査		24時間合宿 於)本校 NZ海外研修説明会	1年留学説明会	小学校訪問 塾訪問
6 月	外部模擬試験 歯科検診 中高合同体育祭 英検(第1回)		NZ海外研修説明会 期末考査	3者面談	オープンスクール 小学校訪問・塾訪問 外国語活動実践交流会
7 月	NZ海外研修壮行会	期末考査	NZ海外研修壮行会	3者面談	小学校訪問

	普通救命講習会 1学期終業式 保護者会 中体連夏季総体	家庭訪問	NZ海外研修出発	期末考査	塾訪問 外国語活動実践交流会
8月	第2学期始業式 課題テスト 校内研修		NZ海外研修 帰国	1年留学説明会	開放講座（英語・プログラミング） オープンスクール 外国語活動実践交流会
9月	校外学習 中高合同文化祭 英語スピーチ（地区大会）		NZ海外研修帰国報告会	1年留学説明会	プレ入試 外国語活動実践交流会
10月	第2学期中間考査 中体連秋季総体 保護者会 英語スピーチ（県大会）		英検全員受検		オープンスクール 外国語活動実践交流会
11月	秋桜祭			3者面談	プレ入試 入試説明会 外国語活動実践交流会
12月	第2学期期末考査 英語スピーチ（東近江市） 生徒会選挙 第2学期終業式 保護者会			3者面談 1年留学説明会	プレ入試・入試説明会 個別進学相談会 外国語活動実践交流会
1月	第3学期始業式 百人一首かるた大会 1年留学帰国報告会 1年留学壮行会 授業参観週間	英検全員受検		1年留学 出発	A日程入学試験 B日程入学試験 外国語活動実践交流会
2月	保護者会			私立高校入学試験 学年末考査 1年留学保護者会	C日程入学試験 外国語活動実践交流会
3月	3年生を送る会 卒業証書授与式 修了式 保護者会	学年末考査	学年末考査	県立高校入学試験	入学許可予定者オリエンテーション 外国語活動実践交流会

## 2 施設・設備の充実

- (1) 電子黒板設置
- (2) コンピュータ実習室PC更改
- (3) 教職員用PC更改

## <びわこ学院大学附属こども園あつぷる>

### I 平成 30 年度 こども園の課題と成果

開園して 6 年、子ども達は恵まれた自然環境に十分触れ、戸外遊びや運動遊びを通して、満足感や達成感、成就感を味わい、安心して自己を表出しています。豊かな体験活動を通して、心も身体も生き生きと輝く園生活を楽しみ、あるがままの自分自身を捉え自尊感情を着実に育てています。職員全体は、常に子ども達に寄り添うきめ細やかな保育に努め、共通理解のもと保育内容の充実に努めています。また大学の先生方や学生の方々とも十分交流し、附属のこども園としての特色をいかんなく発揮しています。

特に、平成 30 年度は、教育・保育要領の改訂に伴い、全体的な計画の作成及び教育・保育課程の見直しを始め、0 歳児から 5 歳児の長期的な発達過程を職員全員が共通理解に努めました。また、子ども達の「安全」について重点をおき、多くの機会を設定しました。子ども達はもちろんのこと、職員の危機管理意識を高めるよう努めました。

4 月・・・東近江警察の協力のもと「知らない人についていかない」ことなど不審者に対する対応

11 月・・・祖父母と一緒に自動車の鍵掛けを作製することで交通安全について考える

2 月・・・東近江市交通政策課の協力のもとクレフィール湖東に出向き節分にちなんだ交通安全 教室の実施

3 月・・・保護者ととともに信号や横断歩道の渡り方を実際に学ぶ交通安全教室

### 保育目標

『共に力強く育つ』

びわこ学院大学の附属こども園として、大学の教職員、学生、子ども達、保護者、保育者、地域の方々など、多くの人間関係の中、関わり合うことを大切にしながら、共に学び合うことができる園を目指します。

### めざす子どもの姿

- あ … あいさつ 朝ごはん 遊びこむ子ども
- っ … つながりあう 伝え合う 積み重ね合う子ども
- ぷる … 一人ひとりの能力をふるに発揮する子ども

### 特色ある保育

開園以来、大学の先生方をお迎えして、幼児を対象にして 4 つの教室を通して触れ合い保育を実施しています。子ども達は、毎回意欲的に取り組み、あつぷる運動会やあつぷる発表会でその成果を、胸を張って発表しています。特にチアリーディングは、毎年びわこ学院大学紅葉祭のオープニングを飾らせていただいておりますし、平成 29 年 12 月には、東近江市人権週間のオープニングセレモニーに出演させていただき、多くの方々から賞賛の声をいただきました。また令和元年 7 月の「東近江市社会を明るくする運動」のオープニングセレモニーにも出演させていただく予定です。

- ゴーゴーチア … アップテンポの楽しい曲に合わせて身体を動かし、リズム感を育て、体幹を鍛えています。みんなで心ひとつにしてコール（掛け声）をしたり、難しい技やスタンプ（組体操）にも挑戦しました。
- 音の玉手箱 … リトミックでいろいろな音遊びを楽しみ、音感を鍛えています。音の楽しさ、美しさを十分味わい豊かな心を育てています。
- キッズイグリッシュ … 英語を身近なものに感じ、親しむため、音楽やお話、ゲームを英語で親しんでいます。あつぷる発表会では、英語での自己紹介も行いました。



○レッツパソコン … タブレットやパソコンを使って、ICTを身近なものとしてとらえています。パネルをタッチしたり、キーボードを操作して絵を描いたり、ひらがな遊びや音遊びを楽しんでいます。

## 年齢別の課題と成果

### 0,1 歳児

落ち着いた雰囲気の中で欲求を満ちし、情緒の安定を図りながら愛着関係を育てることを重点として取り組んだ。高月齢児と低月齢児で大きな差が見られたが、安定した生活リズムをたいせつにすることにより子ども達に安心感を与え、保育者が子ども自身の言いたいことを言葉で返し、言葉で伝えることにより、安心して自分の気持ちを表すことができ、周りを意識できるようになり、いろいろなことに対して、クラス全員の関わりが見られるようになった。

### 2 歳児

保育教諭に親しみ、信頼関係を持って園生活を送り、保育教諭や友達と一緒に周囲の環境に関心を持って関わっていくことを目標として散り組んだ。子ども達一人ひとりの個々の発達段階をしっかり把握し、目の前の課題に惑わされることなく、長期目標達成のため今何をすべきかを考えるよう努めるとともに、子ども達の気持ちしっかり受け止め、意欲を損なわないようにさりげなく援助することにより、子ども達自身の成就感を育て、友達と一緒に遊べるようになった。

### 3 歳児

子ども達自身が、自分のことを自分でしようとし、自分の思いを表しながらのびのびと遊ぶことを重点とした。最初は「手伝って」と訴えることもあったが、しだいに自信を持って主体的に身の回りのことを行う姿が見られるようになった。そんな子ども達の姿を十分認めることにより、自分自身だけのことではなく、友達と触れ合う楽しさを知ることにもつながってきたように感じる。

### 4 歳児

子ども達が様々な活動に興味を持ち、自分の力を発揮しながら、友達と一緒に楽しく遊ぶことを目標として取り組んだ。保育教諭がじっくり取り組む姿勢を認めたり、できるように手助けすることにより、子ども達自身がいろいろな活動に挑戦するようになり満足感を味わえたように思う。並行遊びから友達と関わって遊ぶことの楽しさを感じていく過程で、少人数での関わりやクラス全体での集団遊びなど、子ども達の姿に合わせて保育する一年であった。

### 5 歳児

友達と互いに認め合いながら、自分達で生活や遊び進めていこうとする、自主的・自発的な動きを大切にするよう努めた。友達とぶつかり合いながら思いを伝え協力したり励ましたりと、たくさんの遊びや行事の中で、子ども達は心身ともに成長していった。年長組だからこそ、経験しなければならぬこと、学ばねばならぬことができ、自分で考え工夫するという姿勢が育った。

## 共に育ち合う園をめざして

最も大切なすべき保護者との連携については、保護者の保育に対する関心や希望を受けとめることに努め、年2回の定例の個別懇談だけでなく、送迎時においても、育児の悩みや子どもの話を気軽に話せるよう、信頼関係を築き、コミュニケーションをとることを大切にしたい。また平成30年度より、平常の保育活動を見てもらえるよう、保護者の都合にいい時間に子ども達の姿を見てもらうべく、年2回「自由保育参観週間」を設けた。保護者からは「子ども達のあっぷるでの普段の姿が見られ、より安心感が強くなった」という声が多く聞こえた。平成31年1月からは、新たにホームページを開設し、情

報公開や子ども達の園での様子、保護者への一斉メール配信も導入し、緊急連絡や災害時に備え、安心してもらえる環境作りに努めている。

子育て支援についても、必要な保護者とは、子どもの見方や接し方をともに考えるため、子育て相談を随時行い、「親子触れ合い遊びをしよう」「園児と一緒に触れ合って遊ぼう」「運動会に親子で参加しよう」「絵本の読み取りやエプロンシアターを楽しもう」をテーマに、そして最終回では「東近江市子育てコンシェルジュの小森悦子先生をお招きした子育て講演会」というあっぷる広場を6回実施し、未就園児を対象に親子体験活動など、親と子が大勢の人と触れあえる場を設けた。

附属のこども園だからこそ、大学の授業や行事での学生との交流、先生方によるご指導、滋賀学園中学校、校区である市立船岡中学校、市立聖徳中学校、県立水口東中学・高等学校、県立愛知高等学校の保育学習や職場体験学習を受け入れることによりキャリア教育に貢献し、地域との教育機関との連携を図っている。

## 平成30年度 びわこ学院大学附属こども園あっぷるの現況

### 1 園児数

左：男子 右：女子

学級名 (年齢)	区分	年齢別園児数				学級別園児数			
		4月		3月		4月		3月	
あっぷる1組 (0歳児)		・		3		7		10	
		・	・	2	1				
あっぷる2組 (1歳児)		7		7		3 4		5 5	
		3	4	3	4	3	4	5	5
あっぷる3組 (2歳児)		1 3		1 2		1 3		1 2	
		8	5	7	5	8	5	7	5
あっぷる4組 (3歳児)		2 0		2 1		2 0		2 1	
		1 1	9	1 1	1 0	1 1	9	1 1	1 0
あっぷる5組 (4歳児)		1 9		1 8		1 9		1 8	
		8	1 1	7	1 1	8	1 1	7	1 1
あっぷる6組 (5歳児)		2 3		2 3		2 3		2 3	
		1 5	8	1 5	8	1 5	8	1 5	8
園児数合計		8 2		8 4		8 2		8 4	
		4 5	3 7	4 5	3 9	4 5	3 7	4 5	3 9

### (内幼稚園児数)

左：男子 右：女子

学級名 (年齢)	区分	年齢別園児数			
		4月		3月	
あっぷる3組 (3歳児)		7		7	
		3	4	3	4
あっぷる4組 (4歳児)		8		1 0	
		2	6	4	6
あっぷる5組 (5歳児)		1 0		1 2	
		6	4	8	4
園児数合計		2 5		2 9	
		1 1	1 4	1 5	1 4

・幼稚園児 29名  
 ・保育園児 55名  
 ・合計 84名

### 2 保護者数 74軒

### 3 職員数

- ・常勤（園長、副園長、主任保育教諭、保育教諭） 18名
- ・事務 2名
- ・学生アルバイト 5名

計 24名

## II 施設等の状況

### (1) 現有施設設備の所在地等の説明

(平成31年3月31日現在)

学 校	所 在 地	種 別	面 積
びわこ学院大学 びわこ学院大学短期大学部	滋賀県東近江市布施町 滋賀県東近江市布引台1丁目 滋賀県東近江市蛇溝町	土地(自己所有)	20,103.59㎡
		土地(借用)	11,464.38㎡
		建物(自己所有)	8,322.30㎡
滋賀学園高等学校	滋賀県東近江市建部北町	土地(自己所有)	13,621.99㎡
		土地(借用)	20,322.04㎡
		建物(自己所有)	8,871.44㎡
	滋賀県東近江市川合寺町	土地(借用)	9,953.00㎡
		建物(自己所有)	648.00㎡
滋賀学園中学校	滋賀県東近江市建部北町	土地(自己所有)	1,817.33㎡
		建物(自己所有)	2,930.48㎡
びわこ学院大学 附属こども園あつぷる	滋賀県東近江市布引台1丁目 滋賀県東近江市布施町 滋賀県東近江市今堀町	土地(自己所有)	4,974.20㎡
		建物(自己所有)	893.37㎡
計		土地(自己所有)	40,517.11㎡
		土地(借用)	41,739.42㎡
		建物(自己所有)	21,665.59㎡

## 4 財務の概要

### 1 決算の概要

#### ①事業活動収支計算書の状況

事業活動収支計算書は、収支を経常的なもの(「教育活動」と「教育活動外」と)と臨時的なもの(「特別収支」)に区分するものとし、経常的・臨時的それぞれの収支状況を把握することができるようになっています。また、毎期の収支バランスを見るのに適した基本金組入前の収支差額(従来の帰属収支差額)も計算書上に表示することになっています。

教育活動収支は、経常的な事業活動収支のうち、本業である教育活動の収支です。教育活動収入は1,686,844千円で、予算比32,944千円の増となり、教育活動支出は予算比32,262千円増の1,598,534千円となりましたので、教育活動収支差額は88,311千円の収入超過となりました。

教育活動外収支は、経常的な財務活動に係る事業収入及び事業活動支出をいいます。教育活動外収入は受取利息・配当金のみで289千円となり、教育活動外支出は借入金利息のみで5,979千円となりましたので、教育活動外収支差額は5,691千円の支出超過となりました。

教育活動収支と教育活動外収支の合計を経常収支といい、82,620千円の収入超過でした。

特別収支とは、臨時的な事業活動収入及び事業活動支出をいいます。特別収入は、施設設備寄付金と施設設備補助金で10,560千円となり、特別支出は1,790千円でしたので、特別収支差額は8,770千円の収入超過となりました。

以上の結果、基本金組入前当年度収支差額はプラス91,389千円となり、事業活動収支差額比率はプラス5.4%となりました。

■教育活動収支 (単位：千円)				■特別収支 (単位：千円)			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
<b>事業活動収入の部</b>				<b>事業活動収入の部</b>			
学生生徒等納付金	1,073,455	1,080,123	△6,668	資産売却差額	0	0	0
手数料	24,368	25,136	△768	その他の特別収入	10,587	10,560	27
寄付金	31,110	41,134	△10,024	特別収入計	10,587	10,560	27
経常費等補助金	427,702	436,157	△8,455	<b>事業活動支出の部</b>			
付随事業収入	36,507	44,176	△7,669	資産処分差額	0	1,790	△1,790
雑収入	60,758	60,118	640	その他の特別支出	0	0	0
教育活動収入計	1,653,900	1,686,844	△32,944	特別支出計	0	1,790	△1,790
<b>事業活動支出の部</b>				特別収支差額	10,587	8,770	1,817
人件費	921,767	934,645	△12,878	[予備費]			
教育研究経費	434,241	446,371	△12,130		(0)		
管理経費	210,264	217,518	△7,254		13,069		13,069
徴収不能額等	0	0	0	基本金組入前当年度収支差額	80,228	91,389	△11,161
教育活動支出計	1,566,272	1,598,534	△32,262	基本金組入額合計	△106,975	△79,783	△27,192
教育活動収支差額	87,628	88,311	△683	当年度収支差額	△26,747	11,606	△38,353
<b>■教育活動外収支 (単位：千円)</b>				前年度繰越収支差額	△3,098,651	△3,098,651	0
<b>事業活動収入の部</b>				翌年度繰越収支差額	△3,125,398	△3,087,045	△38,353
受取利息・配当金	260	289	△29	(参考)			
その他の教育活動外収入	0	0	0	事業活動収入計	1,664,747	1,697,693	△32,946
教育活動外収入計	260	289	△29	事業活動支出計	1,584,519	1,606,304	△21,785
<b>事業活動支出の部</b>							
借入金等利息	5,178	5,979	△801				
その他教育活動外支出	0	0	0				
教育活動外支出計	5,178	5,979	△801				
教育活動外収支差額	△4,918	△5,691	773				
経常収支差額	82,710	82,620	90				

\*千円未満四捨五入

## ②資金収支計算書の状況

資金収支計算書とは、当該会計年度の諸活動に対する全ての収入・支出内容を明らかにし、かつ支払資金(現金及びいつでも引き出すことができる預貯金)の収入・支出の顛末を明らかにするものです。

平成30年度の資金収入は合計2,722,060千円となり予算比109,649千円の増となりました。資金支出は、当該年度の教育研究活動およびその他活動に対する支出であり、借入金返済支出や施設設備関係支出などを含んでいます。今年度は、翌年度繰越支払資金が予算比81,607千円増の625,806千円となりました。

■収入の部 (単位：千円)				■支出の部 (単位：千円)			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,073,455	1,080,123	△6,668	人件費支出	929,638	931,788	△2,150
手数料収入	24,368	25,136	△768	教育研究経費支出	325,935	340,263	△14,328
寄付金収入	32,520	42,517	△9,997	管理経費支出	186,320	193,112	△6,792
補助金収入	436,879	445,334	△8,455	借入金等利息支出	5,178	5,979	△801
資産売却収入	0	0	0	借入金等返済支出	89,138	89,138	0
付随事業・収益事業収入	36,507	44,176	△7,669	施設関係支出	9,158	12,750	△3,592
受取利息・配当金収入	260	289	△29	設備関係支出	54,549	64,480	△9,931
雑収入	52,759	55,460	△2,701	資産運用支出	0	0	0
借入金等収入	180,000	180,000	0	その他の支出	463,829	525,420	△61,591
前受金収入	176,218	189,955	△13,737	[予備費]	(0)		
その他の収入	455,843	519,178	△63,335		13,069		13,069
資金収入調整勘定	△258,332	△262,042	3,710	資金支出調整勘定	△8,603	△66,677	58,074
前年度繰越支払資金	401,934	401,934	0	翌年度繰越支払資金	544,200	625,806	△81,607
収入の部合計	2,612,411	2,722,060	△109,649	支出の部合計	2,612,411	2,722,060	△109,649

\*千円未満四捨五入

## ③活動区分資金収支計算書の状況

活動区分資金収支計算書は、資金収支計算書を「教育活動」「施設整備等活動」「その他の活動」の区分に分け、活動ごとの資金の流れを明確化することを目的に作成したものです。一般企業や公益法人のキャッシュ・フロー計算書に近い計算書です。

教育活動による資金収支は223,423千円のプラス、施設整備等活動による資金収支は84,177千円のマイナス、その他の活動による資金収支は84,627千円のプラスとなりました。

■教育活動による資金収支 (単位：千円)		■施設整備等活動による資金収支 (単位：千円)		■その他の活動による資金収支 (単位：千円)	
科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	1,080,123	施設設備寄付金収入	1,383	借入金等収入	180,000
手数料収入	25,136	施設設備補助金収入	9,177	仮払金回収収入	4,770
特別寄付金収入	524	施設整備等活動資金収入計	10,560	預り金受入収入	385,707
一般寄付金収入	40,610	施設関係支出	12,750	修学旅行費預り金収入	41,049
経常費等補助金収入	436,157	設備関係支出	64,480	前期末修学旅行費預り資産収入	23,037
付随事業収入	44,176	施設整備等活動資金支出計	77,230	小計	634,564
雑収入	55,460	差引	△66,670	受取利息・配当金収入	289
教育活動資金収入計	1,682,186	調整勘定等	△17,508	その他の活動資金収入計	634,853
人件費支出	931,788	施設整備等活動資金収支差額	△84,177	借入金等返済支出	89,138
教育研究経費支出	340,263			預り金支払支出	386,251
管理経費支出	193,112	小計(教育活動資金収支差額+		仮払金支払支出	4,770
教育活動資金支出計	1,465,163	施設整備等活動資金収支差額)	139,245	修学旅行費預り金支払支出	52,601
差引	217,023			修学旅行費預り資産支払支出	11,485
調整勘定等	6,400			小計	544,246
教育活動資金収支差額	223,423			借入金等利息支出	5,979
				その他の活動資金支出計	550,226
				差引	84,627
				調整勘定等	0
				その他の活動資金収支差額	84,627

\*千円未満四捨五入

④貸借対照表の状況

貸借対照表は、年度末における財政状態の健全性と学校運営に必要な資産の保有状況や負債状況について表したものです。資産は学校法人に投下された資金がどのように使われているかを表しており、負債及び自己資金は資産が他人の資金(負債)によって賄われているか、自己資金によって賄われているかを示しています。

平成30年度末の総資産は3,512,981千円であり、前年度末に比べ163,134千円増加しました。その主な要因は現金預金の増加によるものです。その結果、有形固定資産の構成比率は74.8%、流動資産の構成比率は20.2%となりました。一方、負債の部合計は951,607千円で、前年度末より71,744千円増加しました。その主な要因は長期借入金や短期借入金の増加によるものです。

資産の部合計から負債の部合計を差し引いた純資産(正味財産)は2,561,374千円となり、前年度に比べ91,389千円の増加となりました。

基本金は79,783千円を組入した結果、5,648,419千円となりました。

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	2,805,188	2,860,262	△55,074
有形固定資産	2,628,945	2,682,021	△53,076
特定資産	0	0	0
その他の固定資産	176,243	178,241	△1,998
流動資産	707,793	489,585	218,208
資産の部合計	3,512,981	3,349,847	163,134

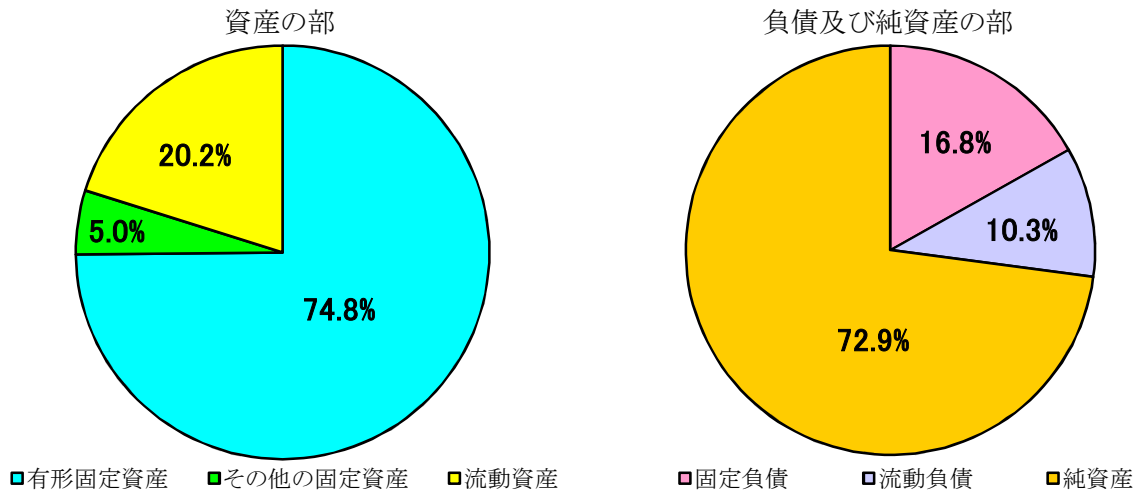
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	591,542	546,061	45,481
流動負債	360,065	333,802	26,263
負債の部合計	951,607	879,863	71,744

科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	5,648,419	5,568,635	79,783
第1号基本金	5,547,419	5,467,635	79,783
第4号基本金	101,000	101,000	0
繰越収支差額	△3,087,045	△3,098,651	11,606
翌年度繰越収支差額	△3,087,045	△3,098,651	11,606
純資産の部合計	2,561,374	2,469,984	91,389

負債及び純資産の部合計	3,512,981	3,349,847	163,134
-------------	-----------	-----------	---------

\*千円未満四捨五入

貸借対照表の構成



## 2 経年比較

### ①収支計算書

#### ア)事業活動収支計算書(平成26年度は消費収支計算書)

(単位：千円)		(単位：千円)				
消費収入の部	平成26年度	教育活動収支	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
学生生徒納付金	819,980	事業活動収入の部				
手数料	24,849	学生生徒納付金	908,373	978,264	1,043,630	1,080,123
寄付金	22,746	手数料	24,982	28,406	27,121	25,136
補助金	356,607	寄付金	100	0	33,100	41,134
資産運用収入	3,671	経常費等補助金	397,337	457,043	439,092	436,157
資産売却差額	0	付随事業収入	75,794	69,812	40,906	44,176
事業収入	97,360	雑収入	14,220	81,775	43,238	60,118
雑収入	36,225	教育活動収入計	1,420,806	1,615,300	1,627,086	1,686,844
帰属収入合計	1,361,438	事業活動支出の部				
基本金組入額合計	△69,693	人件費	861,408	923,748	896,523	934,645
消費収入の部合計	1,291,745	教育研究経費	396,201	406,619	428,449	446,371
		管理経費	210,036	207,697	217,562	217,518
		徴収不能額等	0	0	0	0
		教育活動支出計	1,467,645	1,538,065	1,542,534	1,598,534
		教育活動収支差額	△46,839	77,235	84,552	88,311
		教育活動外収支	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		事業活動収入の部				
		受取利息・配当金	256	294	254	289
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0
		教育活動外収入計	256	294	254	289
		事業活動支出の部				
		借入金等利息	9,528	8,048	6,812	5,979
		その他教育活動外支出	0	0	0	0
		教育活動外支出計	9,528	8,048	6,812	5,979
		教育活動外収支差額	△9,271	△7,753	△6,558	△5,691
		経常収支差額	△56,110	69,482	77,994	82,620
		特別収支	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		事業活動収入の部				
		資産売却差額	0	0	0	0
		その他の特別収入	3,496	1,314	8,582	10,560
		特別収入計	3,496	1,314	8,582	10,560
		事業活動支出の部				
		資産処分差額	0	86	0	1,790
		その他の特別支出	254	0	0	0
		特別支出計	254	86	0	1,790
		特別収支差額	3,242	1,228	8,582	8,770
		基本金組入前当年度収支差額	△52,869	70,710	86,576	91,389
		基本金組入額合計	△137,073	△77,301	△130,274	△79,783
		当年度収支差額	△189,941	△6,592	△43,698	11,606
		前年度繰越収支差額	△2,858,420	△3,048,362	△3,054,953	△3,098,651
		翌年度繰越収支差額	△3,048,362	△3,054,953	△3,098,651	△3,087,045
		(参考)				
		事業活動収入計	1,424,558	1,616,908	1,635,922	1,697,693
		事業活動支出計	1,477,426	1,546,198	1,549,346	1,606,304

\*千円未満四捨五入

## イ) 資金収支計算書

(単位：千円)		(単位：千円)				
収入の部	平成26年度	収入の部	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
学生生徒納付金収入	819,980	学生生徒納付金収入	908,373	978,264	1,043,630	1,080,123
手数料収入	24,849	手数料収入	24,982	28,406	27,121	25,136
寄付金収入	22,746	寄付金収入	1,273	1,314	41,682	42,517
補助金収入	356,607	補助金収入	397,337	457,043	439,092	445,334
資産運用収入	3,671	資産売却収入	0	0	0	0
資産売却収入	0	付随事業・収益事業収入	75,794	69,812	40,906	44,176
事業収入	97,360	受取利息・配当金収入	256	294	254	289
雑収入	30,412	雑収入	14,197	73,122	33,512	55,460
借入金等収入	199,000	借入金等収入	285,000	80,000	50,000	180,000
前受金収入	168,720	前受金収入	182,421	193,258	191,540	189,955
その他の収入	402,156	その他の収入	408,376	521,166	563,302	519,178
資金収入調整勘定	△209,212	資金収入調整勘定	△199,395	△270,898	△257,871	△262,042
前年度繰越支払資金	329,729	前年度繰越支払資金	264,467	242,176	342,698	401,934
収入の部合計	2,246,018	収入の部合計	2,363,081	2,373,956	2,515,865	2,722,060

支出の部	平成26年度	支出の部	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
人件費支出	860,624	人件費支出	857,414	928,584	883,078	931,788
教育研究経費支出	252,049	教育研究経費支出	285,230	290,027	313,697	340,263
管理経費支出	202,071	管理経費支出	189,305	185,563	194,973	193,112
借入金等利息支出	10,077	借入金等利息支出	9,528	8,048	6,812	5,979
借入金等返済支出	130,852	借入金等返済支出	296,516	139,708	107,178	89,138
施設関係支出	119,778	施設関係支出	62,202	11,179	61,077	12,750
設備関係支出	65,583	設備関係支出	39,406	28,757	41,964	64,480
資産運用支出	0	資産運用支出	0	0	0	0
その他の支出	414,226	その他の支出	413,400	534,605	574,928	525,420
資金支出調整勘定	△73,709	資金支出調整勘定	△32,095	△95,212	△69,776	△66,677
次年度繰越支払資金	264,467	翌年度繰越支払資金	242,176	342,698	401,934	625,806
支出の部合計	2,246,018	支出の部合計	2,363,081	2,373,956	2,515,865	2,722,060

\*千円未満四捨五入

## ② 貸借対照表

(単位：千円)		(単位：千円)				
科 目	平成26年度末	科 目	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末
固定資産	3,022,423	固定資産	2,993,439	2,894,562	2,860,262	2,805,188
流動資産	336,030	流動資産	294,420	459,509	489,585	707,793
資産の部合計	3,358,452	資産の部合計	3,287,859	3,354,071	3,349,847	3,512,981
固定負債	693,357	固定負債	657,844	582,016	546,061	591,542
流動負債	299,528	流動負債	317,316	388,647	333,802	360,065
負債の部合計	992,886	負債の部合計	975,161	970,663	879,863	951,607
基本金の部合計	5,223,987	基本金	5,361,060	5,438,361	5,568,635	5,648,419
消費収支差額の部合計	△2,858,420	繰越収支差額	△3,048,362	△3,054,953	△3,098,651	△3,087,045
		純資産の部合計	2,312,698	2,383,408	2,469,984	2,561,374
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	3,358,452	負債及び純資産の部合計	3,287,859	3,354,071	3,349,847	3,512,981

\*千円未満四捨五入



### 3 計算書類の科目説明

#### 資金収支計算書の科目

収入/支出	科目名	内容
収入	学生生徒等納付金収入	在学条件として義務的に、また一律に納付すべきもので、具体的には授業料、入学金、実験実習料、施設設備資金等があります。
	手数料収入	入学試験、追試験、証明書等のために徴収する手数料です。
	寄付金収入	寄贈者より贈与を受けた金銭その他の資産であり、補助金収入と異なるものです。
	補助金収入	国または地方公共団体、日本私立学校振興・共済事業団及びこれに準ずる団体からの助成金です。
	資産売却収入	帳簿価格のある固定資産を売却した場合の収入です。
	付随事業・収益事業収入	補助活動、附属事業、受託事業、収益事業等からの収入です。
	受取利息・配当金収入	預金の利息や、貸付金等の利息等の収入です。
	雑収入	施設設備利用料、廃品売却、退職金団体交付金等の収入です。
	借入金等収入	資金調達のために金融機関等から借入した収入です。
前受金収入	当年度において、翌年度の諸活動に対応する資金を収入したものです。	
その他の収入	学生生徒納付金収入から前受金収入までの各収入科目に含まれない収入です。	
資金収入調整勘定	当年度の諸活動に対する収入で、前年度以前に資金の収入になったもの、及び当年度の諸活動に対する収入で、翌年度以降に資金が受け入れられるものです。	
前年度繰越支払資金	前年度末時点の現金預金残高を示します。	
支出	人件費支出	給与、共済組合掛金、労働保険料、退職金団体掛金等があります。
	教育研究経費支出	教育研究のために要する経費です。
	管理経費支出	教育研究経費以外の経費です。
	借入金等利息支出	借入金等の利息です。
	借入金等返済支出	借入金等の元本返済です。
	施設関係支出	土地、建物、構築物等の支出です。
	設備関係支出	教育研究用機器備品、管理用機器備品、図書、車両等の支出です。
	資産運用支出	有価証券購入、特定資産への繰入支出等です。
	その他の支出	人件費支出から資産運用支出までの各科目に含まれない支出です。
資金支出調整勘定	当年度の諸活動に対する支出で、前年度以前に資金の支出になったもの、及び当年度の諸活動に対する支出で、翌年度以降に資金の支出となるべきものです。	
翌年度繰越支払資金	当年度末時点の現金預金残高を示します。	

#### 事業活動収支計算書の科目

収入/支出	科目名	内容
収入	学生生徒等納付金	在学条件として義務的に、また一律に納付すべきものです。具体的には授業料、入学金、実験実習料、施設設備資金等があります。
	手数料	入学試験、追試験、証明書等のために徴収する手数料です。
	寄付金	施設設備に係るもの以外の寄付金、現物寄附です。
	経常費等補助金	施設設備に係るもの以外の経常費等補助金です。
	付随事業収入	補助活動、附属事業、受託事業からの収入です。
	雑収入	施設設備利用料、廃品売却、退職金団体交付金等の収入等です。
	受取利息・配当金	預金の利息や、貸付金等の利息等の収入です。
	その他の教育活動外収入	収益事業収入等です。
	資産売却差額	不動産等を売却し、その代価が帳簿残高を上まわった場合、その差額、除却差額等をいいます。
その他の特別収入	施設設備に係る寄付金、現物寄附、経常費等補助金、過年度修正	

		額等です。
支出	人件費 教育研究経費 管理経費 徴収不能額等 借入金等利息 その他の教育活動外支出 資産処分差額 その他の特別支出	給与、共済組合掛金、労働保険料、退職金団体掛金等があります。 教育研究のために要する経費です。 教育研究経費以外の経費です。 金銭債権が徴収不能になった時の支出です。 借入金等の利息です。 教育活動支出、特別支出以外のものです。 不動産等を売却し、その代価が帳簿残高を下まわった場合、その差額、除却差額等をいいます。 災害損失、過年度修正額等です。

科目名	内容
教育活動収支差額	学校法人の経常的収支の差額です。
教育活動外収支差額	学校法人の経常的収支で教育活動収支以外の差額です。
経常収支差額	教育活動収支差額－教育活動外収支差額です。
特別収支差額	学校法人の臨時的収支の差額です。
予備費	予算に組み込まれていない支出をあてるものです。
基本金組入額合計	教育に必要な固定資産の取得価額等です。
当年度収支差額	基本金組入前当年度収支差額－基本金組入額合計です。
前年度繰越収支差額	前年度からの収支差額です。
基本金取崩額	教育に必要な固定資産が不必要になった場合等です。
翌年度繰越収支差額	前年度繰越収支差額＋当年度収支差額です。
事業活動収入計 事業活動支出計	学生生徒等納付金等の自己資金に該当するものです。 学校を運営していくための諸費用です。

#### 貸借対照表の科目

資産/負債/ 純資産	科目名	内容
固定資産	有形固定資産	貸借対照日後1年を越えて使用する資産、少額重要資産(机・椅子等)です。
	特定資産	学校法人の意思によって将来の特定の支出に備えて資金を留保した科目(退職給与引当特定資産、施設設備積立資金等)です。
	その他の固定資産	ソフトウェア、有価証券、収益事業元入金、長期貸付金等です。
流動資産		現金預金、未収入金、立替金等です。
固定負債		その期限が貸借対照表日後1年を越えて到来するもの(長期借入金、退職給与引当金、長期未払金等)です。
流動負債		その期限が貸借対照表日後1年以内に到来するもの(短期借入金、未払金、預り金等)です。
基本金		学校法人が諸活動の計画に基づき、教育研究の維持・充実に継続的に保持するための金額(第1号基本金から第4号基本金)です。
繰越収支差額		翌年度繰越収支差額(事業活動収支計算書の翌年度繰越収支差額と同額になる)です。

#### 4 主な財務比率比較

(単位：%)

比率名 ( )は平成26年度	算式	評価	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
事業活動収支差額比率 (帰属収支差額比率)	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	△	△7.1	△3.7	4.4	5.3	5.4
基本金組入後収支比率 (消費収支比率)	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}-\text{基本金組入額}}$	▼	112.8	114.8	100.4	102.9	99.3
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	～	60.2	63.9	60.6	64.1	64.0
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	▼	64.1	60.6	57.2	55.1	55.4
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	△	26.4	27.9	25.2	26.3	26.5
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	▼	15.8	14.8	12.9	13.4	12.9
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	△	112.2	92.8	118.2	146.7	196.6
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	▼	42.0	42.2	40.7	35.6	37.2
純資産構成比率 (自己資金構成比率)	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債}+\text{純資産}}$	△	70.4	70.3	71.1	73.7	72.9
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	△	94.5	95.3	96.0	96.6	97.2
教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	△		7.6	13.0	13.5	13.3

※ 経常収入 = 教育活動収入計+教育活動外収入計

※ 基本金要組入額 = 基本金+基本金未組入額

※ 評価欄は「今日の私学財政」(日本私立学校・共済事業団)による評価

△:高い値が良い ▼:低い値が良い ～:どちらともいえない